

今後の検討の進め方

1. 今後のスケジュール

		東日本大震災津波復興委員会 (政策地域部)	津波防災技術専門委員会 (県土整備部)
4月	上旬		
	中旬	4/11 第1回委員会 【議題】 ・基本方針の決定 ・論点整理① ・被災状況分析の報告 4/14～15 現地調査	中旬 委員委嘱 4/22 第1回委員会 【議題】 ・東日本大震災津波からの復興に向けた基本方針について ・被災状況の把握及び考察 ・今後の検討の進め方について 【まとめ】 ・津波対策施設の整備目標、津波対策の方向性、防災型の都市・地域づくりの考え方に関する「項目」の整理
	下旬	4/26 第2回委員会 【議題】 ・勉強会 ・論点整理② ・専門部会(津波防災技術専門委員会)からの報告	
5月	上旬		第2回委員会(予定) 【議題】 ・現況施設の効果検証(速報) ・津波対策におけるハード及びソフト対策の項目 ・現行制度等の課題 【まとめ】 ・現況施設の効果の評価 ・津波対策施設の整備目標、津波対策の方向性、防災型の都市・地域づくりの考え方に関する「項目」の課題及び対策の整理
	中旬	5/中旬 第3回委員会 【議題】 ・取組方向・柱立て ・専門部会(津波防災技術専門委員会以外)からの報告	第3回委員会(予定) 【議題・まとめ】 ・津波対策施設の整備目標、津波対策の方向性、防災型の都市・地域づくりの考え方の整理
	下旬	5/下旬 第4回委員会 【議題】 ・ビジョン(たたき台)検討	
6月	上旬	上旬 第5回委員会 【議題】 ・ビジョン(素案)検討	以降、随時開催 ・津波予測計算(シミュレーション) ・被災メカニズムの把握 ・整備目標等の検討 ・都市・地域づくりの検討
	中旬		
	下旬		
7 月 3 月			

※議題の内容は変更となる場合があります。

今後の作業内容

No.	実施予定の検討項目	検討条件、方法
1	<p>津波予測計算（シミュレーション）</p> <p>・使用する地形モデル</p> <p>・設定する波源</p> <p>・施設条件</p> <p>・現況再現の条件</p> <p>・現況再現の方法と検証の方法</p>	<p>対象地域（15 地区）：洋野町（平内地区）、久慈市（久慈港地区）、野田村（野田地区）、普代村（宇留部地区）、田野畑村（嶋之越地区）、岩泉町（小本地区）、宮古市（田老地区、藤原地区、鎌ヶ崎地区）、山田町（山田漁港地区）、大槌町（大槌漁港地区）、釜石市（釜石港地区）、大船渡市（大船渡港地区、越喜来地区）、陸前高田市（高田地区）</p> <p>平成 16 年度岩手県調査モデル（一部 40m メッシュ）</p> <p>藤井・佐竹モデルのバージョン 4.0 を使用。</p> <p>平成 16 年度岩手県調査モデルに、平成 23 年度までに整備された構造物条件を追加する。</p> <p>潮位は宮古港、釜石港、大船渡港での被災直前までの潮位観測記録を使用。</p> <p>各計算エリアについて、痕跡調査結果に対して藤井・佐竹モデルのすべり量を調整して、各々のエリアに合うモデルに調整し、痕跡調査結果との整合性により検証。</p>
2	<p>被災メカニズムの把握</p> <p>・来襲津波高の精査及び計画津波高との比較</p> <p>・残存構造物の構造物調査及び津波作用力の評価</p> <p>・現況海岸保全施設の防護機能の検証（沖合施設、二線堤の効果も含む）</p> <p>・津波に強い構造検討の基礎資料とするため、各施設の構造条件の把握</p> <p>・海岸保全施設への作用津波力の評価</p> <p>・防潮堤が破堤を免れる条件（越流水深、流速等）の検討</p>	<p>津波予測計算（現況再現）結果により確認。</p> <p>RC、SRC 構造を対象に、建築年、構造種類、津波来襲方向に対する構造物の長さとお行き及び高さ、壁厚等を確認。</p> <p>津波予測計算（現況再現）結果により、該当箇所（施設）での最大津波水位、最大津波流速を確認。</p> <p>津波予測計算（施設の有無）結果により比較確認。</p> <p>現地調査（資料調査）により、施設の断面形状、諸元等を確認。</p> <p>津波予測計算（現況再現）結果により、防護ラインでの最大津波水位、最大津波流速を確認。</p> <p>海岸保全施設の被災が少なかった地域の海岸線での最大津波水位、最大津波流速の比較確認。</p>
3	<p>整備目標等の検討</p>	<p>地域特性に応じた対策施設の計画津波高及び施設配置の比較検討</p>
4	<p>都市・地域づくりの検討</p>	<p>地域特性及び整備目標等に応じた津波など災害に強いまちづくりと防災体制の検討</p>